



ENEOS

2021年9月17日

各位

稲沢石橋水素ステーションの開所について

当社（社長：大田 勝幸）は、本日、「稲沢石橋水素ステーション（愛知県稲沢市）」を開所しましたので、お知らせいたします。本ステーションは、次世代自動車振興センター「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」の採択を受けており、当社47カ所目、中京圏で8カ所目の商用水素ステーションとなります。

本ステーションが位置する稲沢市は愛知県北西部に位置し、名古屋市街および岐阜県等へのアクセスが良好なことから、両県の燃料電池自動車（FCV）ユーザーの利便性向上に貢献できます。

当社は、2014年のFCV販売開始に合わせて水素ステーションを開所して以来、四大都市圏に整備を進めております。現在、水素ステーション数は3割強のシェアとなっています。

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標9「産業と技術革新の基礎をつくろう」および目標13「気候変動に具体的な対策を」につながる水素事業において、当社は、今後とも水素製造ならびに自動車用燃料供給に関わるインフラやノウハウの活用により、水素の「製造」「輸送」「販売」の効率的なビジネスモデルを構築し、水素社会の実現に向けた取組みを加速してまいります。

<稲沢石橋水素ステーション概要>

開所日	2021年9月17日
所在地	愛知県稲沢市石橋3丁目1番
運営者	株式会社ENEOS水素サプライ&サービス
敷地面積	1,077.49m ² （326坪）
形態	単独型
供給方式	都市ガス改質型オンサイト方式（水素製造装置をステーション内に設置） 水素製造能力：300Nm ³ /h



ENEOS

<ステーション外観>



<当社水素ステーションの概要>

形態	供給方式	ステーション数	計
単独型	オンサイト	10カ所 (うち都市ガス改質方式7カ所)	18カ所
	オフサイト	8カ所	
SS一体型	オンサイト	6カ所	17カ所
	オフサイト	11カ所	
移動式※	—	—	12カ所

※専用トラックの荷台に水素充填機器を搭載し、販売拠点に移動して販売

以上